

科目名	すべての人への健康支援を考える		
-----	-----------------	--	--

科目番号	A-3	開設大学名	長崎県立大学シーボルト校
開講場所	長崎県立大学シーボルト校 講義室	教養・専門の別	教養
		単位数	2単位
開講期間	平成29年 4月 12日(水)～ ～平成29年 7月 26日(水)	曜日	水曜日
		時限	6時限目
開講時間	18時00分～19時30分 (90分) 「毎週 水曜日」	授業定員	なし
		履修年次	1年次以上
実習費等	なし	選考方法	書類選考
その他特記事項	講義日程は変更する場合があります。	試験・評価方法	出席・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
① 4月12日	これからの健康支援:国の政策や地域での支援事業の現状と今後の見通し	平野 かよ子 (看護学科 教授)
② 4月19日	思春期・青年期の健康問題の特徴と健康支援	久佐賀 眞理 (看護学科 教授)
③ 4月26日	自殺の問題と対策:長崎県の現状を踏まえて	濱田 由香里 (看護学科 講師)
④ 5月10日	労働者の健康支援:働く人の心と身体への支援	竹口 和江 (看護学科 助教)
⑤ 5月17日	災害時の健康支援	片穂野 邦子 (看護学科 講師)
⑥ 5月24日	在日外国人の母子保健	李 節子 (看護学科 教授)
		新田 祥子 (看護学科 講師)
⑦ 5月31日	精神障害を持つ人への健康支援	堂下 陽子 (看護学科 講師)
⑧ 6月7日	子どもの成長発達に応じた健康問題と健康支援	林田 りか (看護学科 准教授)
⑨ 6月14日	老年期の健康問題の特徴と健康支援	山口 多恵 (看護学科 講師)
⑩ 6月21日	介護者への健康支援	木村 チヅル (看護学科 講師)
⑪ 6月28日	生活習慣と健康:子どもから高齢者まで	山谷 麻由美 (看護学科 講師)
⑫ 7月5日	健康におけるワーキングメモリー	大塚 一徳 (看護学科 教授)
⑬ 7月12日	慢性疾患を持つ人への健康支援;内部障害を中心に	吉田 恵理子 (看護学科 准教授)
⑭ 7月19日	身近な感染症とその予防	永峯 卓哉 (看護学科 准教授)
⑮ 7月26日	健康支援の専門家として看護職に求められること	山澄 直美 (看護学科 准教授)

連絡先	
-----	--

(科目内容)
看護は、あらゆる場や状況で、あらゆる年代の個人および家族、集団、コミュニティを対象とする。本科目は、そのような、あらゆる場や状況におけるすべての人への健康支援について、現状と今後の見通しを含めて考える科目である。通常のカリキュラムにある科目の中では学ぶことが少ない内容や最近の話題、受講する学生に関連の深い内容を中心に広く構成した。なお、がん看護や緩和ケア、在宅ケアなどについては、NICEキャンパス長崎内の他の科目があるため、今回の内容からは除外した。

学生の感想・ 教員のコメント等

<p>国の政策や地域包括ケアシステムなど、大きな視点からの健康支援や自殺やストレスチェックなどのメンタルヘルス、産業保健関連の内容、子どもから思春期・青年期、高齢期、労働者、介護者、在日外国人などに対する健康支援など、看護学科の講師陣が幅広い分野から専門的な内容、最新の話題、研究成果などを交えた授業を行います。 健康支援の専門家として看護職を目指す人にとって、有意義な時間になると思いますので、ぜひ受講をしてください。</p>	<p>参 考 写 真 等</p>
--	------------------

科目名	在宅緩和ケア概論		
科目番号	A-13	開設大学名	長崎県立大学シーボルト校
開講場所	長崎県立大学シーボルト校E110	教養・専門の別	教養
		単位数	2単位
開講期間	平成29年10月11日(水) ～平成30年1月31日(水)	曜日	水曜日
		時限	6時限目
開講時間	18時00分～19時30分(90分) 「毎週水曜日」	授業定員	60人(うち単位互換定員60人)
		履修年次	1年次以上
実習費等	なし	選考方法	書類選考
その他特記事項		試験・評価方法	出席・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
① 10月11日	オリエンテーション・在宅緩和ケアの現状と課題	吉原 律子 (元長崎県立大学看護栄養学部)
② 10月18日	在宅緩和ケアとがん診療	山之内 孝彰 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)
③ 10月25日	ホスピス・緩和ケア	益富 美津代 (聖フランシスコ病院ホスピス病棟) (認定NPO法人 長崎在宅Dr.ネット) (ホーム・ホスピス中尾クリニック)
④ 11月1日	在宅療養における医師の役割	中尾 勘一郎
⑤ 11月8日	在宅医療における情報通信技術の活用	前村 葉子 (長崎県立大学情報システム学部)
⑥ 11月15日	在宅療養における管理栄養士の役割	古川 美和 (長崎市医師会診療所)
⑦ 11月22日	在宅療養と行政の役割	藤田 理恵 (長崎県県央保健所)
⑧ 11月29日	在宅療養とリハビリテーション	松坂 誠應 (長崎リハビリテーション病院)
⑨ 12月6日	在宅療養における歯科医師の役割	介田 圭 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)
⑩ 12月13日	在宅療養における薬剤師の役割	手嶋 無限 (アイビー薬局)
⑪ 12月20日	在宅療養(ケア)と介護福祉士の役割	堀部 和貴 (ケアプランセンターやまぼうし)
⑫ 1月10日	在宅ケアのマネジメント	志岐 美津子 (恵珠苑 居宅介護支援事業所)
⑬ 1月17日	在宅医療における地域医療連携の実際	川崎 浩二 (長崎大病院地域医療連携センター)
⑭ 1月24日	在宅療養における看護師の役割	吉原 律子 (元長崎県立大学看護栄養学部)
⑮ 1月31日	在宅ケアにおける死生観	内村 公義 (NPO法人ウエスレヤン・コミュニティカレッジ)

連絡先 長崎県立大学シーボルト校 総務企画課企画グループ TEL:095-813-5500

【在宅緩和ケア概論】は、平成28年度まで、長崎県立大学、長崎大学、長崎国際大学と自治体、保健・医療・福祉系の職能団体が連携する「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」の科目を継続するものである。
がん医療や緩和ケアに関する基礎知識、患者および家族が療養生活を送るにあたり必要となるケアと各専門職の役割、多職種連携の実際や情報を共有するための方法について、医療機関や在宅医療・在宅ケアの現場で活躍する医師、歯科医師、薬剤師、看護師、管理栄養士等の専門職が講師となりオムニバスで展開する。

学生の感想・教員のコメント等

<教員のコメント>

がんの罹患率が増加する中、緩和ケアの必要性が求められています。これを機会に自分のこととして、医療従事者として緩和ケアと在宅ケアについて学んでみませんか

<受講生の感想> (一部抜粋)

緩和ケアはあきらめじゃない！患者のQOLを大きく上げることもあるという言葉にとても心をうたれた。緩和ケアはその人らしく生きていくことを助けるということに改めて感じた。また、患者さんを一人にしない、できる限りサポートするという姿勢やコミュニケーション、距離の取り方の大切さがよくわかった。緩和ケアは治療だけではなく、患者の思い、遺族のケアがとても大切で、看護師としてはその思いをくみとり治療に携わっていかなければならないと思った。(看護学生)

栄養士も在宅ケアの様々な場面で患者さんの生活に合わせた栄養指導をして、患者さんが元気になるようなサポートができるとわかった。高校生の時に新聞記事で在宅栄養士の事を知り関心を持った。私自身、食べることが大好きで、食べることにはとても大きな力があると思っている。人の食生活と健康を、その人や家族の立場にたってしっかりとサポートできるような管理栄養士になりたいと思った。(栄養学生)

